

岐阜農林事務所の普及活動状況 令和4年1月31日現在

今月の重点活動

■かき スマート農業機器の実証試験を実施

「スマート農業技術実証農場設置事業」により現地へ導入されたアシストスーツとリモコン式除草ロボットの実証試験を今年度実施した。実証試験の結果、アシストスーツ着用により資材運搬時の疲労度（アンケートにより算出）が50%軽減でき、軽労化効果が確認できた。今後は肥料散布や収穫時のコンテナの運搬などに利用予定である。

また、リモコン式除草ロボットの実証試験では、刈払い機と比較して除草作業時間が30%削減された。

これらの結果をまとめたパネル展示を本巣市役所において、1月31日～2月3日まで実施している。

農業普及課ではこれらの成果を活用し、スマート農業技術を普及していく。



【実証試験の様子】

(園芸産地支援第二係・杉浦真由)

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■女性農業経営アドバイザー GLAMAいきいきネットワーク岐阜事業推進会議開催

1月24日、GLAMAいきいきネットワーク第4回事業推進会議が開催された。会議では今年度の活動報告、次年度計画及び自主研修事業等について検討された。

岐阜ブロックでは、会員同士の接触を避けるため、広報GLAMA 62号の2月発行に向けて、SNS上による広報の編集作業を行った。農業普及課では、関係機関との連絡調整等、今後も自主的なアドバイザーの活動を支援していく。

(園芸産地支援第一係・横田 京子)



【作成した広報62号】

安心で身近な「ぎふの食」づくり

■麦類 管内各地で生育調査を実施

岐阜地域では農業法人や大規模農家が生産調整水田を利用して、麦類（小麦・大麦）を約450ha作付けしている。農業普及課では麦類の単収向上や品質改善をねらい、実証ほの設置や生育調査を行っている。

令和4年産麦類では、施肥試験や品種比較、生育経過の把握を目的として管内36地点で生育調査を行っており、1月5日と17日に草丈・茎数・葉色等を調査した。今年度は、発芽～初期生育が順調である一方、播種作業が遅れたものは、12月の低温により生育が緩慢となり、生育が二分化している。

今後、農業普及課では生育調査を継続しつつ、穂肥の施用や病害虫防除について指導し、令和4年産麦類の単収・品質の向上を図っていく。



【生育調査の様子】

(地域支援第三係・松本 政行)

■外来生物駆除 ジャンボタニシ被害対策検討会に出席

1月12日岐阜県水産会館において、令和3年度ジャンボタニシ被害対策検討会が開催された。この会議は県農産園芸課主催によるもので、当日はWebでの参加も含め62名が出席し令和3年産稲作における被害状況と対策について協議した。

農業普及課は、今年度、箱施薬（パダン粒剤4）によるジャンボタニシ防除試験を現地で実施した。供試薬剤の効果は、食害防止のみで殺菌効果がなく、部分的にジャンボタニシによる稲の欠株が発生した。そこで防除効果を高めるため、ジャンボタニシに有効な他の薬剤散布や捕殺するなどの耕種的防除と組み合わせるとよいことを説明した。

ジャンボタニシは高い増殖力を持ち、生息数の増加や分布地域の拡大が懸念されている。防除は色々な対策を組み合わせる必要があるが、厳冬期における耕耘も有効な対策の一つであり、今後、農業普及課では冬耕起を推進する。

（地域支援第三係 松本 政行）



【検討会の様子】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■花き 農業DX化実証農場バラ生育調査を実施

令和3年度から岐阜バラ会が、「農業DX化実証農場設置事業」に取り組んでおり、管内の切りバラ生産者3戸に実証ほを設置した。昨年7月から環境モニタリング機器を設置して環境データを測定している。また9月からは、毎月一回生育調査も行っている。

1月12日、瑞穂市と各務原市の切りバラ生産者のハウスで生育調査を行い、データを収集した。今後、収集した環境データと生育データを分析し、適切な栽培管理方法を検討する。

（園芸産地支援第一係・白木 愛）



【生育調査の様子】

■いちご 共進会地方審査を実施

県いちご共進会の地方審査が、1月19日に行った本巣市の審査を皮切りに始まった。地方審査は岐阜農林事務所とJAぎふの担当者が審査員となり、管内の部会ごとに順次実施し、1月28日に終了した。

今作は、8月中旬からの天候不良により頂花房の異常な早期出蕾、その後の腋花房分化の乱れ等、栽培管理の難しい状況でスタートしたが、現在も初期の出蕾のバラつきの影響があるものの、秋期に天候に恵まれたこともあり、生育は平年と比較して良好なほ場が多かった。

今後、農業普及課では審査結果を取りまとめ、県審査へ推薦する生産者を決定する。また、単収などが高い生産者の栽培技術を収集し、いちごの安定生産に向けた栽培指導に役立てていく。

（園芸産地支援第二係・菊井 裕人、若原 浩司）



【地方審査の様子】